

検査報告書変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査報告書を変更させていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 2019年 3月 30日(土)ご報告分より

■変更項目

案内書掲載頁	項目コード	検査項目	備考
149	4345	AICS 予約 男性5種	測定委託先における変更のため
	4349	女性6種	

解析委託先である味の素株式会社より、報告書内容変更の申し入れがありましたので、以下の点について変更させていただきます。

■変更点

- ・ より見やすいプロット記号とするため、表面のAICS値を示すプロット記号が「*」から「●」へ変更となります。
- ・ 各ランクでのがんである可能性【倍率】内の「有病率データ(※1)」が「罹患率データ(※2)」へ変更となります。罹患率データへの変更で、各がん種に即したより正確な説明が可能となります。

※1: 岡本直幸: 人間ドック 26 (3): 454-446(2011)味の素株式会社共同研究プロジェクト提供

※2: 国立がん研究センターがん情報サービス: 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975~2012年)

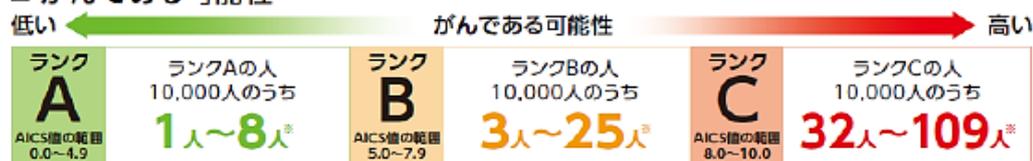
※裏面にも案内がございますので、ご覧ください。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。

▼表面

新

■ がんである可能性



*各ランク内において人数の幅があるのは、AICS_gでは部位によってがんである可能性が異なるためです。

現

■ がんである可能性



*各ランク内において人数の幅があるのは、AICS_gでは部位によってがんである可能性が異なるためです。
※一般的に、10,000人に約10人が、がんであると示されています。

▼裏面

新

●各ランクでのがんである可能性【倍率】

低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類		罹患率*	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値			0.0~4.9	5.0~7.9	8.0~10.0
項目	がん種				
AICS(胃)	胃がん	0.1036%	1/3,088 [0.3倍]	1/603 [1.6倍]	1/95 [10.2倍]
AICS(肺)	肺がん	0.0887%	1/3,342 [0.3倍]	1/604 [1.9倍]	1/125 [9.0倍]
AICS(大腸)	大腸がん	0.1325%	1/1,510 [0.5倍]	1/596 [1.3倍]	1/92 [8.2倍]
AICS(膵臓)	膵臓がん	0.0273%	1/12,744 [0.3倍]	1/2,893 [1.3倍]	1/316 [11.6倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	0.1179%	1/1,885 [0.5倍]	1/398 [2.1倍]	1/133 [6.4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	0.1264%	1/1,194 [0.7倍]	1/440 [1.8倍]	1/198 [4.0倍]
AICS(子宮-卵巣)	子宮がん-卵巣がん	0.0858%	1/4,660 [0.3倍]	1/794 [1.5倍]	1/100 [11.6倍]

各種がんの罹患率を基にした場合の、がんである可能性
出典: 味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、現在がんであるおおよその倍率をランク別に示したものです。例えばAICS(胃)では、ランクAでは3,088人に1人が、ランクBでは603人に1人が、ランクCでは95人に1人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は各種がんの罹患率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。

*罹患率は、2012年の全国がん検診検出率(厚生労働省がん研究センターがん情報サービス)と、がん登録全国集計によるがん罹患率(1975年~2012年)に基づき、算出に基いて算出されています。

現

●各ランクでのがんである可能性【倍率】

低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類		ランクA	ランクB	ランクC
AICS値		0.0~4.9	5.0~7.9	8.0~10.0
項目	がん種			
AICS(胃)	胃がん	1/3,200 [0.3倍]	1/625 [1.6倍]	1/98 [10.2倍]
AICS(肺)	肺がん	1/2,963 [0.3倍]	1/536 [1.9倍]	1/111 [9.0倍]
AICS(大腸)	大腸がん	1/2,000 [0.5倍]	1/789 [1.3倍]	1/122 [8.2倍]
AICS(膵臓)	膵臓がん	1/3,478 [0.3倍]	1/789 [1.3倍]	1/86 [11.6倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	1/2,222 [0.5倍]	1/469 [2.1倍]	1/156 [6.4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	1/1,509 [0.7倍]	1/556 [1.8倍]	1/250 [4.0倍]
AICS(子宮-卵巣)	子宮がん-卵巣がん	1/4,000 [0.3倍]	1/682 [1.5倍]	1/86 [11.6倍]

一般の方が、がんである確率(有病率)を10,000人に10人(1/1000)とした場合の、がんである可能性
出典: 味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、がんであるおおよその倍率をランク別に示したものです。一般的に、10,000人に約10人(約0.1%)が、がんであると言われていて、例えばAICS(胃)では、胃がんの有病率(一般の方が、胃がんである確率)を10,000人に10人とした場合に、ランクAでは3,200人に1人が、ランクBでは625人に1人が、ランクCでは98人に1人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は一般の方の有病率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。